



さわやかな風が吹き、過ごしやすい季節になってきました。園庭や公園の風景も、少しずつ秋へと変化しています。この間、子ども達がお散歩から帰ってくると、「先生、ただいま！」「見て見て！なんか拾ったよ！」「これ何だろう??」と目をキラキラさせて小さな緑色の木の実を見せてくれました。秋の宝物を発見して、大喜びの子ども達。これからも一つひとつの小さな感動や発見、驚きを大切にしながら、子どもたちと一緒に秋の自然にたくさん触れていきたいと思ひます。

<10月の行事>

- 2日(水) 内科健診
- 15日(火) 身体測定・避難訓練
- 24日(木) お楽しみ会
- 28日(月) 防犯訓練

検診結果で治療が必要と診断された場合は、速やかに内科を受診していただくようお願いいたします。また、当日欠席をされた場合には、園医であります“ ”さんにて検診を受けて頂きますので、各自で電話予約をしていただき、園からお渡しする用紙をお持ちになって受診してください。



<11月の行事>

- 1日~18日 ふれあい参観
- 14日(木) 避難訓練
- 19日(火) 身体測定
- 27日(水) お楽しみ会

<ミニ保健だより>

薄着の習慣は秋からスタート

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたりしますが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、今から薄着を心がけていきましょう。

薄着で過ごすコツ

- 寒いときは薄手の上着で調節する
- 肌着を着て保温する
- おなかと背中が出ないようにする



大人より「少し遅く」「1枚少なく」!

大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。

10月生まれのおともだち

お誕生日、おめでとう!



ちょっと、ひといき…

“インディアンの教え”をご存じでしょうか?? ネイティブアメリカンに伝わる「インディアンの教え」。何百年という子育ての経験から生まれた子育ての基本となる原則を述べたものですが、現在、様々な教育法やしつけ法などが取りざたされる中、シンプルかつ確と注目を浴びています。悩みの尽きない子育て…子どもをとりまく環境が子どもの人格を作るということを、的確な言葉で表現していると言えます。今回は、そんな子育ての指針をご紹介します。

～アメリカインディアンの教え～

批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします

敵意にみちた中で育った子はだれとでも戦います

ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります

ねたみを受けて育った子はいつも悪いことを

しているような気持ちになります

心が寛大な人の中で育った子はがまん強くなります

はげましを受けて育った子は自信を持ちます

ほめられる中で育った子はいつも感謝することを知ります

公明正大な中で育った子は正義心を持ちます

思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます

人に認めてもらえる中で育った子は自分を大事にします

加藤諦三著・アメリカインディアンの教え・扶桑社文庫より



私は、子ども達が大人になった時、自分が愛されて育ってきたことに気付く人になってももらえたらと思っております。保育園でも職員一同、愛情たっぷり、スキンシップたっぷり、これからも子ども達とのかかわりを大切にしていきたいと思ひます。

♪ 園で楽しんでいるふれあい遊び ♪

・おふねがぎっちらこ

・ぐるぐるせんたくき

・わらべ歌あそび

・ひつつきもつつき

・いっぽんぼし

・ペンぎんさん

・おすもうくまちゃん

・つんつんつん、とんとんとん

・バスに乗って

などなど…お家で出来る簡単なものばかりですので、ぜひお家でも楽しんでみてください！